

SSW だより

調布市立第六中学校

スクールソーシャルワーカー

新聞 章子（しんま あやこ）

(巡回校：国領小学校・調和小学校)

発行日：令和7年6月

六中勤務日：月・木／火午後／水午後

こんにちは。スクールソーシャルワーカー、略して「SSW」です。

調布市では令和6年度より、SSWを全小中学校に週一回以上配置しています。

SSWは何をしている人なのか、と聞かれことが多いですが、ぜひこちらを読んで知って頂けると幸いです。

スクールソーシャルワーカー（SSW）は学校の福祉の相談窓口です。

子どもたちの日常生活や学校での困りごと、心配なことについて、ご家族、学校の先生、関係機関と連携しながら、改善に向けて支援します。子どもやご家族などからお話を聞き、どうしたらより良い方向に向かうのかと一緒に考えていきます。

SSWが大切にしていること

「子ども自身はどう思っているのか」、「子どもにとって何が最も利益になるのか」を大切にしています。子どもの現在、未来に目を向けて支援します。

スクールカウンセラーとの違い

スクールカウンセラーは、心理の専門家です。心のケアなど心理的な側面から支援をします。

福祉とは？

福祉とは、みんなの「普段の暮らしがしあわせ」になるよう目指して動いていくことをいいます。

視覚障害者誘導用ブロックに自転車を停めない、転んだ人に手を差し伸べるなども「福祉」にあたります。



相談例

※あくまでも一例です。イメージしやすいよう作成しています。

生徒から



- 孤独を感じことがある。なんだか居場所がない感じ。
- 本当は放課後に友達と遊んだり、部活もしたいが、家のことを頼まれていて時間がない。
- なんだかイライラして辛くなる。物にあたってしまう。

保護者から



- 子どもが学校に行き渋る。寄り添ってあげたい気持ちはあるが、焦りもありどうしたらよいかがわからない。
- 子どもの元気がなくて心配だが、話してくれない。

生徒のみなさんへ 声に出そう

人に話すことに勇気がいる人がいるかもしれません。自分でどうにかしようという人もいるかもしれません。

相談したくても、こんなことで相談していいのかな、という声もよく聞きます。

誰かに話すことで、心の負担が軽くなったり、自分とは違う考え方を知ることができたり、解決のヒントを得ることができるなどと言われています。大切なことは、**ひとりで悩まないこと**。まずは誰かに話してみませんか？

いろいろあります /

相談できるところ

身近な人に相談する

親、身近にいる大人、学校の先生、保健室の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（SSW）など

7月1日～スタート

SNS電話で相談する

- 調布市チャット相談（「調布市 チャット相談」で検索 匿名OK）
- こちらのほっとチャット（匿名OK）
- 24時間子どもSOSダイヤル
- どうきょう若者ヘルスサポート など

名前を伝えずに
相談できるところ
もあります。

その他

- こどもの人権 SOSミニレター
- どうきょう若者ヘルスサポート（対面）

※渋谷BLDGに相談できる場所があります

など

話がまとまらなくても大丈夫です。
まずはお話を聞かせてください。

【SSWが第六中学校に勤務している日】

月・木／火午後／水午後

連絡先：042-485-5276（第六中学校）

職員室や校内を回っています。声をかけにくい時は、先生に「SSWに相談したい」と伝えてください②



SSW 新聞 章子（しんま あやこ）